

秋田市立旭川小学校「森の学校」

東北森林管理局 技術普及課、秋田森林管理署



9月30日に、秋田市立旭川小学校5年生94名を対象とした森林教室を実施しました。この活動は、「総合的な学習の時間」において、地域の自然のすばらしさや森林の重要性についての学習に取り組む同校から要請を受け、平成27年度から実施しているものです。令和7年度は『森と木の学習』『ZORING体験』『丸太切り体験』を入れ替え制にして、秋田市太平山自然学習センターまんたらめにて行いました。

MENU 01

森と木の学習

森林の役割や管理の仕方、林業の流れ、SDGsとの関わりについてと盛りだくさんの内容でしたが、子ども達は、職員の話に耳を傾けながら熱心にメモを取り、積極的に学んでいました。



説明の途中でクイズを出題。正解者には景品をプレゼントとしたことから、大いに盛り上がりました。最終的には皆さん一生懸命答えてくれたので、職員が小枝で作成した『もっくん』のキーホルダーを全員にプレゼントしました。



MENU 02

『ZORING』カードゲーム

東北森林管理局の職員が開発・制作したカードゲーム『ZORING（ゾーリン）』を体験。はじめに、紙芝居を使いルールについて簡単にお話ししました。



ルールを学んだあとは、各班に分かれて白熱の対戦！目当てのカードが出ずに苦戦したり、妨害されたりと、歓声や笑い声が飛び交うなか、夢中でプレイし、時間が足りないほどでした。子ども達は、楽しみながら森づくりについて学んでいました。



MENU 03

丸太切り体験

昔のノコギリや現在のチェーンソーなどを見せたり触れさせたりしながら、伐採道具の進化や現在使われている高性能林業機械について、写真も交えて紹介しました。



その後、実際にノコギリを使って丸太の輪切りに挑戦！子ども達は、悪戦苦闘しながらも職員の力を借りたり、自分で工夫したりして最後まで頑張って切っていました。切った丸太は紙ヤスリで磨いてきれいにし『まんたらめ』の焼き印を押してもらってコースターに仕上げ、お土産に持って帰ってもらいました。

